

```

ファサード
use Illuminate\Support\Facades\Auth;

if(Auth::check()){
    //現在認証されているユーザーの取得
    $user = Auth::user();

    //現在認証されているユーザーの ID 認証
    $id = Auth::id();

    //ログアウト
    Auth::logout( $id );
}

```

ファサードは『建物の正面』といった意味の英語で、

『アプリの先頭に立ってまず処理を行う役割のクラス』
でデフォルトで実装されているクラス。

内容としては Auth, Artisan, Blade, Cookie などメイン機能では無いが
サブ機能としてよく使うものがまとめられている印象。

ファサードは laravel の設計指針(概念、考え方)であって PHP 言語にそういった
機能がある訳では無い。

あくまで設計していく中で

『こういったクラスがあったらいいよね』

という事で Laravel で作られているクラスになる。

『表に立って受け付けることで、内部の複雑な処理を隠す。(反対に呼び出す方は、
内部でなにをやっているかや仕組みを気にしなくて済む)』

というものになる。

ファサードを簡単に例えるなら受付。

例えば Auth ファサードであれば『認証系の受付係』。

呼び出す側(受付にお願いする側)では、

=====

```

//現在認証されているユーザーの取得
$user = Auth::user();

```

=====

上の様な感じでログインしているユーザー情報が取得できる。

<https://readouble.com/laravel/5.8/ja/facades.html>

//ファサード(Facades)

use Illuminate\Support\Facades\Auth;

if(Auth::check()){

//現在認証されているユーザーの取得

\$user = Auth::user(); <-認証関係の情報を取得できるやつ

//現在認証されているユーザーの ID 取得

\$id = Auth::id();

//ログアウト

Auth::logout();

}